

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。					
2 評価する領域・分野	◇生徒指導（教育相談含む）					
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> • 問題行動数は、12件発生した。 • 交通事故数は、今年度は6件。 • 頭髪や身だしなみについては、基準を見直し、全職員で指導にあたることができた。 • 「8時30分には完全登校」とし、遅刻減少を目指したが、まだ徹底できず、若干減少にとどまった。 • 今年度より、携帯・スマートフォンの使用時間を8時15分から16時30分までを禁止とした。昼休みに使用する者が数名おり指導した。ネットパトロールでの違反者は今年度もなし。 • 生徒指導の進め方については、入学式や育友会総会等において学校の指導方針を保護者に伝えるとともに、HPや配布物により理解していただいている。 					
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自己指導能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 時間励行と明るい挨拶の実践 • 問題行動の未然防止、早期対応の徹底 ◇規範意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 端正な身だしなみ • 交通ルールの遵守とマナーの習慣化 • 関係機関等との連携 					
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	生徒部会、企画委員会、各学年会、職員会議、各種委員会などを通じて、全職員の共通理解を図る。					
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標					
(1) 毎朝の遅刻指導。保護者・MSリーダーズによる挨拶運動（毎月1日と15日）・教育相談週間（年2回）の実施 (2) 学期はじめの再登校指導・年間を通してのイエローカードの実施 (3) 自転車点検・交通講話・育友会と連携した朝の交通指導、夜間防犯のための反射板の生徒への配布 (4) 揖斐郡内の小中との連携、他の高校との連携、必要に応じた警察との連携 (5) 教育相談係の活用・スクールカウンセラーの活用・スペシャリストサポート事業等の活用・専門機関との連携	(1) 欠席、遅刻者数の推移・問題行動、いじめの認知件数の増減。 (2) TPOに応じて、端正な身だしなみができているか。イエローカードの配付数。 (3) 交通事故件数の増減、不審者被害の増減。 (4) 必要に応じた情報の共有ができているか。 (5) 不登校生徒の増減。 (6) 保健室利用者（教育相談に関するもの）・相談室利用者の増減。（ただし、これについては減少すればよいというものではない。早期段階で相談でき、解決できる状況を常に作っておくことが重要と考える）					
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価				
<ul style="list-style-type: none"> • 生徒指導担当者、副担任を中心として、全職員が登校時に挨拶・遅刻指導を実施した。遅刻が 	① 全職員による挨拶、遅刻指導ができたか。	<table style="display: inline-table; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="padding: 0 10px;">B</td> <td style="padding: 0 10px;">C</td> <td style="padding: 0 10px;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
A	B	C	D			

<p>5回以上になった生徒にはボランティア活動を課すようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談、i-check、迷惑調査を通して、気になる生徒や問題を抱えた生徒に接しながら「考え、自己決定させる」指導を実施した。 平成25年度より年間を通してのイエローカードによる指導を継続実施した。頭髮、スカート丈、ボタンなどの身なり指導、また、携帯・スマートフォンのマナー違反に対する指導など一週間の継続指導を課した。 	<p>② 職員間で共通理解を持ち、i-checkや迷惑調査を受けての迅速な対応ができたか。30日を超える不登校生徒数の推移。</p> <p>③ T P Oに応じた端正な身だしなみができているか。</p>	<p><input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p>
<ul style="list-style-type: none"> 4月に業者による自転車点検を実施。また、揖斐警察署員による交通講話を実施した。 育友会と連携し、月1回朝の交通指導を実施した。また、危険箇所の見直しによる登下校のルート変更を実施した。 揖斐郡内小中高生徒指導連携強化委員会・学校警察連絡協議会への参加と情報交換、学校・警察とのサポート制度の活用。 	<p>④ 交通事故が減少したか。</p> <p>⑤ 安全を意識した自転車の乗り方ができているか。</p> <p>⑥ 保護者の協力が得られているか。</p> <p>⑦ 必要に応じて、関係機関等と連携し、効果を上げることができたか。</p>	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p><input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p> <p><input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p>
<p>11 成 果 ・ 課 題</p>	<p>○平成25年度より、身だしなみ指導の方策として、イエローカードを導入した。違反者には、5日間該当教員のサインをもらうという方式を継続した。それにより、女子のスカート丈や、男子のズボン等の身だしなみは、大幅に改善された。「着こなし講座」を実施し、規定違反だけでなく、しっかりとボタンを止める、リボンの結び方など着こなしについての意識の向上を図った。</p> <p>○昨年以上に、携帯・スマートフォンの使用制限をした結果、情報モラル違反が大幅に減少し、今年度も、ネットパトロールでの違反者は0であった。校内での使用許可時間以外での使用者に対しては、自己管理のもと一週間の使用禁止など制限を課した。</p> <p>○昨年度、交通事故が4月、5月に多発したことを受け、今年度は4月、5月を交通安全強化月間とし、育友会との合同での交通指導を月2回行うなど、生徒、地域へ積極的に呼びかけた結果、この2か月の交通事故は、乗車中を除けばゼロ件であった。</p> <p>▲地域からの要望や苦情が減少した。数件の苦情は、下校時の生徒の交通マナー違反等に関してのものであった。登校時、下校時に生徒部が率先し、校外の見回りを定期的に行った成果だと思われる。</p> <p>▲今年度、(財)日本交通管理技術協会より「自転車通学安全モデル校」として推薦を受けた。これは交通安全に対する取り組みが認められたものであり、岐阜県で初となった。次年度は「自転車通学安全モデル校」に恥じないよう徹底した交通マナー向上を呼び掛けていく。</p> <p>▲年々、教育相談を必要とする生徒が増加しており、それに伴い教育相談室登校も増加してきているが、教育相談室に常駐する教員がいない為、養護教諭に負担がかかっていた。今年度後半より、教育相談室登校者に対して、各学年会で担当を決め、指導にあたった。スクールカウンセラーのカウンセリング(スペシャルサポート事業を含む)による的確なアドバイスで生徒一人一人の心のケアをすることができ、不登校者のうち1名は、休学となった(この生徒は休学をしたことにより、症状が好転した)が、それ以外は全教科ではないものも含め、授業へ参加できるようになった。このようにスクールカウンセリング・スペシャリストサポート事業の導入により重大問題となる前にケアできており、また、カウンセラーより、専門機関への紹介をして頂き、連携が図れたことも大きかった。来年度以降も重要な事業となる。</p>	<p>総合評価</p> <p><input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D</p>

12 来年度に向けての改善方策案

身だしなみに関しては、イエローカードの導入により、以前と比較するとスカート丈等、大幅に改善した。今年度、「着こなし講座」を実施するなど、女子のリボンの結び方、ブレザーの前ボタンをとめる等、端正な身だしなみの指導に重点を置いてきた。

来年度より、女子の制服や男女の夏服を一新するため、今後の基準になるよう徹底した身だしなみ指導を全職員でしていかねばならない。

ネットパトロールでの違反者は皆無であった。歩きスマホも見られなくなった。しかし、昼休みに使用している生徒が数名いた。

H27年度、ユネスコスクールに認定され、今年度もボランティア活動にも積極的に取り組み、MSリーダーズを中心に地域活動に取り組んできたので、次年度にさらに発展させていきたい。

教育相談においては、i-checkや、迷惑調査を通して、迅速な対応ができるようになってきた。これまで教育相談係、養護教諭に大きな負担がかかっていたが、スクールカウンセラーの導入、さらに、スペシャリストサポート事業の活用（さらに専門機関との連携）は、職員の負担軽減とともに、対象生徒とその家族の安心感を生むなど、大きな成果として表れている。

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】

- 先生方が「規則だから」といって形式的に生徒の生活指導をするという事態は皆無であって、「生徒の人権を尊重しつつも、人間として、社会人としてきちんと対応する」という姿勢が随所に見られた。スクールカウンセラーを利用して、血のかよった指導をしている点は大いに評価できる。
- 新しい制服は、大変素晴らしく、見た目だけでなく、機能性・実用性をよく考えて作られたことに感心しながら見せていただいた。きつと新しい制服を着た生徒さんたちは、背筋を伸ばし、モデルのような立ち振る舞いで学校生活を送ってくれるだろうと思う。みんなの気持ちを一つにまとめた制服こそが池田高校の象徴になると思う。
- 地域の中で活躍する池田高校の生徒さんたちは、きちんと挨拶をする、お年寄りを大切にする、人の役に立つことをしあわせだと感じる・・・など(あたりまえのことだが、今は貴重なことになってしまっている)を体験の中から身につけていると思う。体験から学んだ事は、決して忘れない、決してぶれない。
- 学校にお邪魔した際、生徒のみなさんは挨拶はみなさんよくして下さいます。身だしなみも以前より随分よくなったと思います。総合評価 A に表れているように思いました。
- 指導方針が実際に保護者に届いているか疑問です。